

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(令和元年5月分)

令和元年6月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

(2) エンティティ、特別区

ア. ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

イ. スルプスカ共和国(RS)

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

(2) 二国間関係

3. 経済

(1) 経済政策・公共事業

(2) 経済協力

(3) 民間セクター

(注: 以下は、当地紙報道等の公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

●チョービッチがHDZ党首に再選(4月27日)

HDZ党首選において、チョービッチ現党首が再選。また同日の党大会では、BHのエンティティ領域再編を求めていくとする今後の党方針が採択された。

●クロアチア民族評議会がエンティティ再編を要求(4月30日)

クロアチア民族評議会(HNS)執行部はモスタルで会合を開催し、BHのエンティティ領域再編を求める今後の活動方針を採択。一方で、コムシッチBH大統領評議会メンバー(クロアチア系)及びSDAは、同決議は先のBH紛争時にクロアチア系が創設した「ヘルツェグ・ボスナ・クロアチア人共和国」の政治目的と類似したものだとして、HNSを強く批判した。

●新閣僚評議会発足は9月以降になるとの観測(15日)

当地ネザビスネ・ノビネ紙(バニャ・ルカ発行のRS主要紙)報道は、新BH閣僚評議会発足が今年9月に予定されているSDA党大会後にずれ込むとの観測記事を掲載。同党が現閣僚評議会によるNATO加盟行動計画案の承認を求め中、9月の同党党首選での再選を目指すイゼトベゴビッチ党首は同計画案の承認を拒否するSNSDに対して妥協できず、新閣僚評議会の発足にも合意できない見通し。

●SBBが政権参加を決定(16日)

SBB党執行委員会は、SDA、HDZ、SNSDを中心とする新BH閣僚評議会の連立交渉への参加を決定。SDAは、政権入りと引き替えに同党に治安大臣ポストを配分する見通

し。

●SDA、DF、SBBが連立に関する覚書を締結(17日)

SDA、DF、SBBの3党党首は、新BH閣僚評議会発足に向けた3党間の基本原則に関する覚書を締結。同覚書の中で3党は、BHのNATO加盟に向けた加盟行動計画案の早期承認を現閣僚評議会に対して求める方針で一致した。

●SDPがラグムジャ前党首を含む8名を除名処分(18日)

SDP執行部は、ラグムジャ前党首を含む8名の除名を決定。SDPは今回の処分について、ラグムジャ前党首ら6名に関しては新たな中道左派政治運動の発足を主導したこと、他の2名に関してはコムシッチDF党首(大統領評議会メンバー、クロアチア系)の政策アドバイザーに就任したことが理由であると発表。

●コヨビッチ・我々の党(NS)党首が再選(18日)

我々の党(NS)党首選において、コヨビッチ現党首が再選。同党はBH議会下院で2議席を有しているほか、サラエボ・カントンにおける非SDAの連立政権に参加している。

●連立政権交渉の動向(22、29日)

5月には新BH閣僚評議会の発足に向けた連立交渉が断続的に開催。ドディックSNSD党首は、現閣僚評議会によるNATO加盟行動計画案の承認を拒否する構えを強調し、新閣僚評議会発足の成否はSDA次第と表明。一方でイゼトベゴビッチSDA党首は、BHは数年前にNATO加盟の方針を決定しているとして、

同問題は既定事項である旨を強調。

●BH高等司法検察評議会(HJPC)長官に汚職疑惑(24、29日)

オンライン紙「Žurnal」は、テゲルティヤBH高等司法検察評議会(HJPC)長官の汚職疑惑を報道。同報道によれば、テゲルティヤ長官は昨年11月に、サラエボ・カントン検察庁に出されていた訴訟案件の審理加速化の約束と引き替えに、2,000KM(約1,000ユーロ)を授受。同報道に関してテゲルティヤ長官は、金銭の授受及び一切の違法行為を否定している。一方で、29日には、テゲルティヤ長官の辞任を求めるメクティッチBH治安大臣の呼びかけに応じた市民数百人が、HJPCの施設前で抗議集会を開催。

●ニクシッチSDP党首が再選(26日)

SDP党首選で、ニクシッチ現党首がその他2候補を破り再選。

●BH閣僚評議会が約2ヶ月ぶりの会合を開催(29日)

BH閣僚評議会は、4月4日以来となる通常会合(第172回)を開催。同会合で閣僚評議会は、ハーン欧州委員会近隣・拡大政策担当委員から送付されたBHの国内改革状況に対する評価書への回答案などを採択した。なお同会合以前に予定されていた閣僚評議会会合は、いずれもクロアチア系大臣の欠席による定数不足のため不開催となっていた。

(2)エンティティ、特別区

ア. ポスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)

●BH連邦政府がガス料金の値上げを決定(4月25日)

BH連邦政府は、BH連邦におけるガスの卸売り価格を5月1日付けで約30%値上げする方針を決定。同決定は、最近の天然ガス価格上昇への対応として、BH連邦ガス供給公社が示していたガス卸売り価格の引き上げ要請に対応したものの。

●BH連邦議会下院がジェノサイドの否定を禁じる法律の制定を要請(13日)

BH連邦議会下院は、先に12のBH紛争被害者団体から出されていた提言に基づき、旧ユーゴスラビア国際刑事裁判所(ICTY)及び国際刑事法廷残余メカニズム(IRMCT)に関する決議を採択。同決議の中でBH連邦議会下院は、BH議会に対して、ジェノサイド、ホロコースト、その他の戦争犯罪の事実を否定することを禁止する法律の制定を要請した。

●BH連邦政府発足に向けた連立交渉の動向(23日)

イゼトベゴビッチSDA党首は、当地TV局のインタビューの中で、BH選挙法改正をBH連邦政権発足の条件として要求しているHDZに関して、近々チョービッチ党首は条件を緩和させるだろうと発言。これに対してチョービッチ党首は、BH選挙法の改正が引き続き政権発足の条件である旨を強調した。

イ. スルプスカ共和国(RS)

●「RS軍の日」式典の開催(12日)

「RS軍の日」及びBH軍のRS系部隊である「第3歩兵連隊の日」の式典がバニャ・ルカで開催。同式典に出席したドディックBH大統領評議会議長(セルビア系)は、RS軍廃止による2005年のBH軍創設は間違いであったと発言するとともに、第3歩兵連隊に対して、来

年の式典では同部隊の半数の兵士が旧RS軍の制服を着用することを求めると述べた。

2. 外政

(1) **多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)**

●西バルカン首脳会合の開催(4月29日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長は、独・ベルリンで開催された西バルカン首脳会合に出席。セルビア・コソボの国境問題が主要な議題となった同会合後の記者会見で、ズビズディッチ議長は、BHは西バルカン地域における領域再編を通じたコソボ地位問題の解決は受け容れられない旨表明。この発言に対してセルビアのブチッチ大統領は、BHがコソボの独立を承認したかのような発言であるとして、ズビズディッチ議長を強く批判した。

●インツコOHR上級代表が国連安保理に報告書を提出(8日)

インツコOHR上級代表は、BHにおける Dayton 和平協定の履行状況に関する最新の報告書(第55回)を国連安保理に提出。同報告書の中でインツコ上級代表は、新BH閣僚評議会の未発足の現状を説明するとともに、ドディックBH大統領評議会議長(セルビア系)による最近の分離主義的発言を強く非難。これに対してドディック議長は、同報告書がRSの利益を損なう嘘とごまかしに溢れているとする批判声明を発表。

●ブルドー・ブリュニ・サミット(8~9日)

ドディックBH大統領評議会議長(セルビア系)およびジャフェロビッチ同評議会メンバー(ボシュニャク系)が、アルバニアのティラナで開催されたブルドー・ブリュニ・サミット(西バ

ルカン地域諸国首脳会合)に出席。同会合に際してコソボのサチ大統領は、コソボの地位問題に関して、BHにおけるRSをモデルとする解決策は受け容れられない旨発言。これに対してドディック議長は、RSは多民族社会における対立関係に関する良い解決例であるとして、サチ大統領の同発言を非難した。

●欧州評議会閣僚委員会がBHの参加資格凍結解除に条件を提示(17日)

欧州評議会閣僚委員会は、6月に開催される次回の欧州評議会議員会議の前にBHが代表団の選出を完了させることを条件として、同議会へのBHの参加資格の停止処分を解除する方針を決定。本問題をめぐっては、先にBH側が本年4月6日を期限とされていたBH代表団の選出を完了することができず、参加資格の停止処分を下されていた。

●欧州委員会がBHに対するEU加盟候補国の地位付与に関する意見書を公表(29日)

欧州委員会は、BHへのEU加盟候補国の地位付与に関して、肯定的な意見を公表。その一方で欧州委員会は、同意見書の中で、EU加盟プロセス前進の条件として行政改革、憲法改正、汚職対策などを含む14の優先的改革項目への取り組みをBHに対して要求。今後、BHの全行政レベルにおける政権発足が完了し次第、EU加盟各国は同意見書に関する協議を行い、11月の欧州理事会が同意見に基づき何らかの決定を下す予定。

(2)二国間関係

●BH・トルコ首脳会談(2日)

ドディックBH大統領評議会議長(セルビア系)及びジャフェロビッチ同評議会メンバー(ボ

シュニャク系)がトルコを訪問し、同国のエルドアン大統領と会談。両国首脳は、BH・トルコ間の自由貿易協定、及び、サラエボ・ベオグラード間の高速道路の建設に関する両国間の覚書を締結。

●BH・ルーマニア首脳会談(16日)

ズビズディッチBH閣僚評議会議長がルーマニアを訪問し、同国のダンチラ首相と会談。ズビズディッチ議長は、BHのEU加盟プロセスに対するルーマニアからの支援を求めるとともに、農業、エネルギー、機械産業などの産業分野におけるBH・ルーマニア間の関係強化への関心を示した。これに対してダンチラ首相は、BHのEU加盟に向けたルーマニアの支援を約束した。

3. 経済

(1)経済政策・公共事業

●トゥズラ火力発電所7号炉の建設は6月に開始の予定(6日)

BH連邦電力公社は、トゥズラ火力発電所7号炉の建設を本年6月に開始予定である旨を表明。同社は併せて、本建設事業にはBH国内の建設業者があたるとの見通しを示した。

●EBRD年次総会がサラエボで開催(8～9日)

欧州復興開発銀行(EBRD)の年次総会がサラエボで開催。日本から出席したうえの財務副大臣のほか、コソボを除く西バルカン5か国の首脳が参加し、BHからはズビズディッチBH閣僚評議会議長が出席。ズビズディッチ議長は、BHに対する外国からの直接投資額が増加傾向にあることに言及し、BHは魅力的なビジネス環境を有しているとして、西バルカ

ン地域、EU及び世界の投資家達に更なる投資を呼びかけた。

●西バルカン諸国・EU・トルコ経済・金融会合 (17日)

BHを含む西バルカン諸国、EU、トルコの各国政府代表が参加する経済政策会合がブリュッセルで開催され、西バルカン諸国及びトルコは、EU加盟に向けて、経済分野における1993年コペンハーゲン基準達成に対するコミットメントを表明。なお、同会合のフリンジにおいて、シャロビッチBH対外貿易・経済関係相がパクデルミリ・トルコ農林森林相との間で会談を実施。両大臣は、今月2日に両国が締結した自由貿易協定の速やかな議会批准の必要性を確認した。

●BH・セルビア経済相会談(27日)

シャロビッチBH対外貿易・経済関係相がサラエボにおいて、セルビアのリヤイツ貿易・観光・通信相との間で会談を実施。両大臣は、コソボがBH及びセルビアからの輸入品に課している税率100%の関税の撤回の必要性を確認するとともに、コソボが7月1日に開催予定の西バルカン首脳会合(於・ポーランド・ポズナン)までに同関税の撤回を行わなかった場合には、BHとセルビアは必要な対抗措置を講じるとの方向で意見が一致した。

(2) 経済協力

●高速道路欧州回廊5c線の建設にEBRDが追加支援(8～9日)

ベバンダBH財務・金融相とチャクラバルティEBRD総裁は、サラエボで開催されたEBRD総会のフリンジにおいて、BH南北を繋ぐ高速道路欧州回廊5c線の建設にEBRDが21

0万円の追加的な資金融資を行うことで合意。同資金は今後、RSのルダンカ・インターチェンジからBH連邦のメダコボ・インターチェンジまでを結び、BH北部における総距離14キロメートルのドボイ・バイパスの建設に充てられる予定。

●EUがBH観光産業支援プロジェクトを開始 (15日)

BHを始めとするEU非加盟国における中小企業支援を行うEUのイニシアチブであるEU4Businessは、BHにおける観光産業の発展を目的として、150万ユーロ規模の支援プロジェクトを開始。EU4Businessは今後、BH国内の観光産業を中心とする中小企業が応募する各プロジェクトに対して、8～30万ユーロの支援を行う予定。

(3) 民間セクター

●奥・電機部品メーカーがBHに新工場をオープン(17日)

オーストリアの電機部品メーカーであるElsta Mosdorferが、BH北東部のジビニツェ市に新工場をオープン。同工場は、150人の現在の従業員数を、今後の工場の生産能力拡大に応じて増加させる予定。Elsta Mosdorferの工場オープンにより、ここ2年間におけるジビニツェ市への外国からの直接投資は5件目となった。